

# 水害 レポート 2025





【出水前】令和7年7月撮影 しらかわ 白川水系水系白川 あそたての（阿蘇立野ダム）



しらかわ あそ たての  
【出水後】 令和7年8月11日撮影 白川水系水系白川（阿蘇立野ダム）

# CONTENTS

2025年度の主な水害・土砂災害等	3
雨の降り方の変化	5
令和7年8月6日からの大雨	7
令和7年9月3日からの大雨	13
海外における災害	18

本資料は令和8年3月31日現在の数値であり、  
今後の調査等により変わる可能性があります。

# 2025年度の 主な水害・土砂災害等

2025年度の災害は、8月6日から12日にかけて北陸地方や九州地方を中心に記録的な大雨、9月3日からは台風第15号や台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が非常に不安定となった影響で、各地で線状降水帯が発生し大雨をもたらした。甚大な被害が発生した。

また、6月から7月にかけてトカラ列島近海を震央地とする群発地震が発生し、12月には青森県東方沖でマグニチュード7.5の非常に大きな地震が発生した。

風水害発生期間	事象名	主な被災地域（床上浸水棟数） 反転文字は自治体内10棟以上（作図）
2025年8月	令和7年8月6日からの大雨	北海道(5)、青森県(2)、秋田県(5)、新潟県(3)、富山県(1)、 <b>石川県(20)</b> 、 <b>山口県(22)</b> 、 <b>福岡県(62)</b> 、長崎県(2)、 <b>熊本県(39)</b> 、大分県(5)、 <b>鹿児島県(1,002)</b> 、計1,168棟
2025年9月	令和7年9月3日からの大雨	北海道(6)、 <b>秋田県(10)</b> 、福島県(9)、栃木県(1)、群馬県(2)、 <b>東京都(1,297)</b> 、 <b>神奈川県(88)</b> 、 <b>新潟県(40)</b> 、 <b>静岡県(22)</b> 、 <b>愛知県(22)</b> 、 <b>三重県(112)</b> 、大阪府(1)、島根県(2)、 <b>広島県(10)</b> 、長崎県(4)、宮崎県(1)、計1,627棟

資料：https://www.fdma.go.jp/disaster/info/

土砂災害発生期間	事象名	主な被災地域（人家被害戸数） 反転文字は自治体内5戸以上（作図）
2025年8月	令和7年8月6日からの大雨	<b>石川県9戸(全壊1、半壊1、一部損壊7)</b> 、 <b>熊本県171戸(全壊11、半壊27、一部損壊133)</b> 、 <b>鹿児島県13戸(全壊2、一部損壊11)</b> 、新潟県1戸(一部損壊1)、静岡県1戸(一部損壊1)、福岡県2戸(一部損壊2)、長崎県1戸(一部損壊1)、大分県1戸(一部損壊1)、計199戸

資料：https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/r7doshasaitop.html

地震発生日	震央地名	M	最大震度		
2025年 4月18日	長野県北部	5.1	【震度5弱】長野県大町市、小川村、筑北村		
2025年 6月30日 ～ 9月17日	トカラ列島近海	4.7～5.6			
		(6月30日)	(5.3)	【震度5弱】鹿児島県十島村	
		(7月2日)	(5.1)	【震度5弱】鹿児島県十島村	
		(7月2日)	(5.6)	【震度5弱】鹿児島県十島村	
		(7月3日)	(5.5)	【震度6弱】鹿児島県十島村	
		(7月5日)	(5.4)	【震度5強】鹿児島県十島村	
		(7月6日)	(4.9)	【震度5強】鹿児島県十島村	
		(7月6日)	(5.5)	【震度5強】鹿児島県十島村	
		(7月7日)	(5.1)	【震度5弱】鹿児島県十島村	
(9月17日)	(4.7)	【震度5弱】鹿児島県十島村			
2025年10月25日	根室半島南東沖	5.8	【震度5弱】北海道根室市		
2025年11月25日	熊本県阿蘇地方	5.8	【震度5強】熊本県産山村 【震度5弱】熊本県阿蘇市、大分県竹田市		
2025年12月 8日	青森県東方沖	7.5	【震度6強】青森県八戸市 【震度6弱】青森県階上町、おいらせ町 【震度5強】北海道函館市、青森県野辺地町、七戸町、東北町、五戸町、南部町、むつ市、東通村、岩手県一戸町、軽米町		
			【震度5弱】北海道新篠津村、千歳市、南幌町、苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町、新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、浦幌町、大樹町、青森県五所川原市、平内町、鶴田町、つがる市、外ヶ浜町、三沢市、六戸町、横浜町、六ヶ所村、三戸町、岩手県久慈市、盛岡市、二戸市、八幡平市、滝沢市、宮城県登米市		
2026年 1月6日	島根県東部	6.4、5.1			
			(1月6日)	(6.4)	【震度5強】鳥取県境港市、日野町、江府町、島根県松江市、安来市 【震度5弱】鳥取県米子市、日吉津村、日南町、南部町、伯耆町、島根県雲南市
			(1月6日)	(5.1)	【震度5弱】島根県安来市

資料：https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html



8月6日からの大雨 (福岡県糸島市)  
ふくおかけん いとしまし



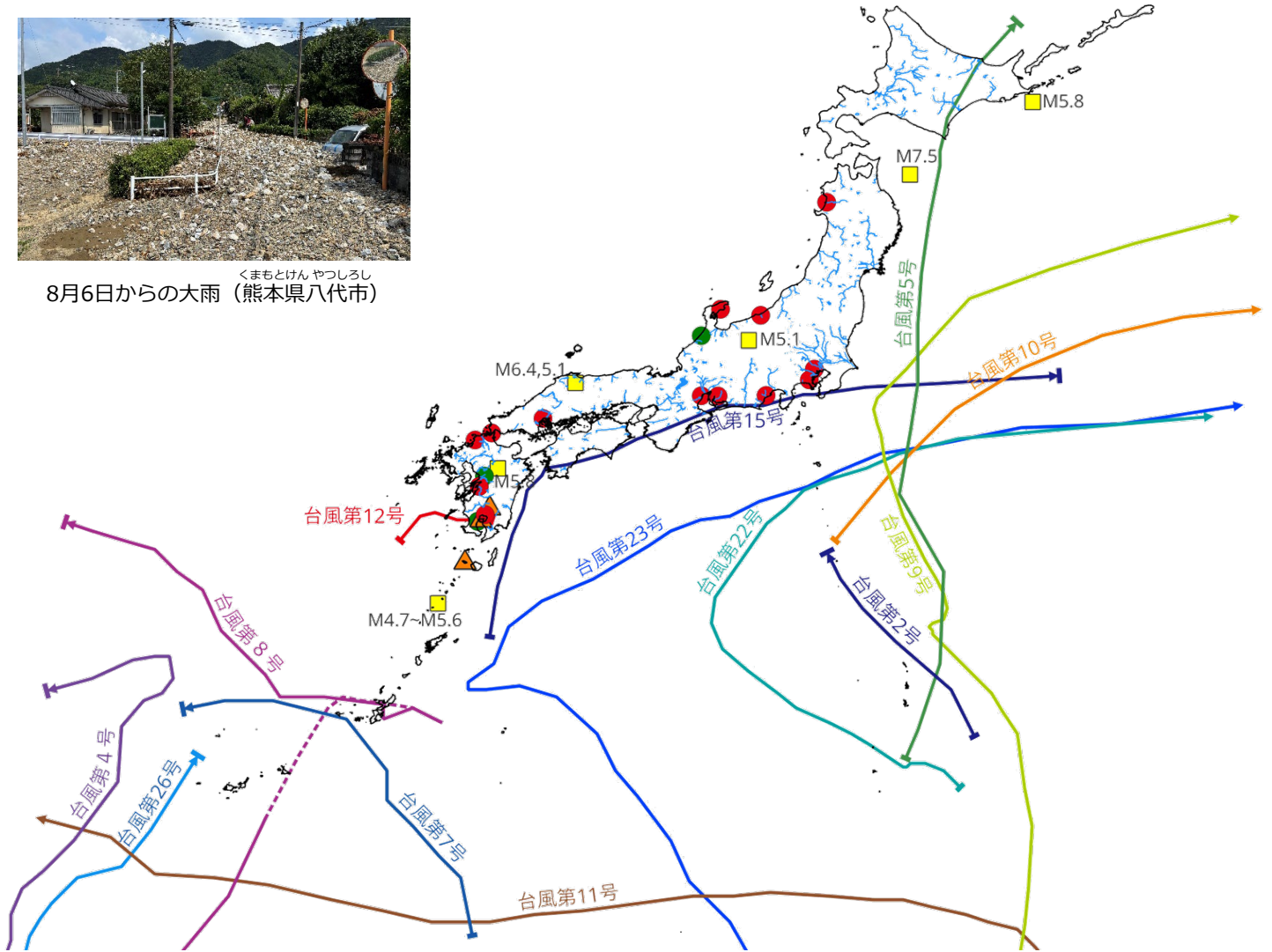
8月6日からの大雨 (長崎県諫早市)  
ながさきけん いさはやし



8月6日からの大雨 (鹿児島県始良市)  
かごしまけん あいらし



8月6日からの大雨 (熊本県八代市)  
くまもとけん やつしろし



火山	発表日	噴火警戒レベル (レベル3以上)
霧島山(新燃岳)	2025年 3月30日	レベル3発表
	2025年 5月27日	レベル2引き下げ
	2025年 6月23日	レベル3引き上げ
	2025年 10月17日	レベル2引き下げ
口永良部島	2025年 6月11日	レベル3発表
	2025年 9月 5日	レベル2引き下げ
桜島	2022年 7月27日	レベル3発表

資料: [https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

**【凡例】**

- 風水害 (主な被災地域)
- 土砂災害 (主な被災地域)
- 地震 (M:震央地のマグニチュード)
- ▲ 噴火
- 台風 (上陸・接近)  
(発生) (消滅)

噴火警戒レベル1 : 活火山であることに留意  
 噴火警戒レベル2 : 火山周辺規制  
 噴火警戒レベル3 : 入山規制  
 噴火警戒レベル4 : 高齢者等避難  
 噴火警戒レベル5 : 避難

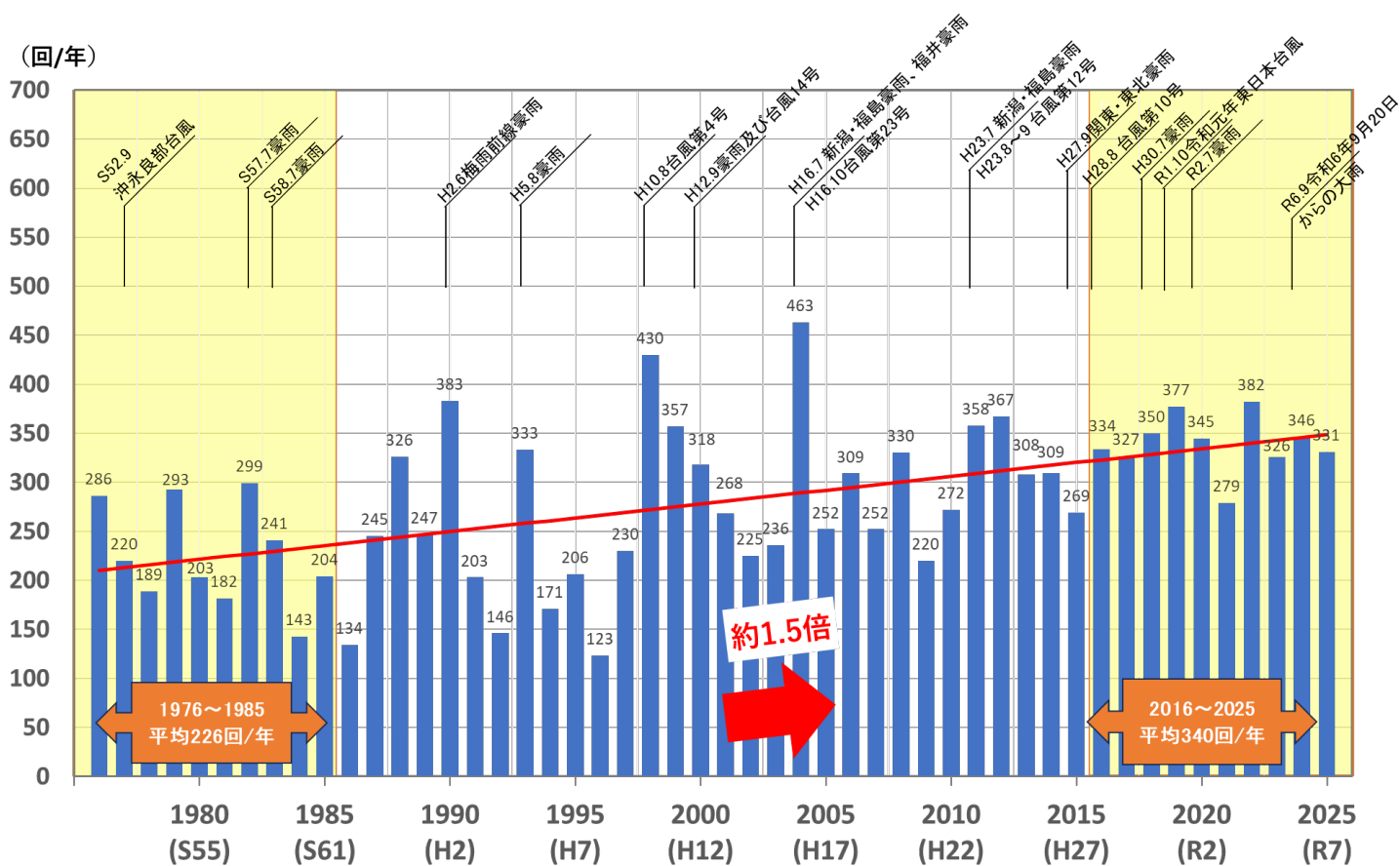
# 雨の降り方の変化

近年、時間雨量50mmを上回る短時間降雨の発生件数が増加。

また、総雨量1,000mm以上の雨も頻発する等、雨の降り方が集中化・激甚化。

## 概要

- 時間雨量50mmを超える短時間強雨や総雨量が数百mmから千mmを超えるような大雨が発生し、全国各地で毎年のように甚大な被害が発生。
- 時間雨量50mm以上の年間発生回数は、1976年から1985年の10年間の平均回数は226回であるが、2016年から2025年の10年間の平均回数は340回と増加傾向（約1.5倍）を示す。
- 気候変動の影響により、水害の更なる頻発・激甚化が懸念。



1 時間降水量50mm以上の年間発生回数（アメダス1,300地点あたりに換算した値）

\* 気象庁資料より作成

# 近年発生した大雨

過去10年間※では、約97%の市区町村（1695/1741市区町村）で水害・土砂災害が1回以上発生。 ※平成26年～令和5年  
 近年も全国各地で総雨量1,000mmを超える大雨が頻発し、大規模な水害・土砂災害が発生。

## 令和5年

- 梅雨前線の活発な活動や上空の寒気の影響で大雨となり6月28日から7月16日までの総降水量は、大分県日田市、佐賀県鳥栖市、福岡県添田町では、1,200mmを超えた。
- 国管理河川では6水系9河川、都道府県管理河川では38水系112河川のあわせて118河川が氾濫。また、九州・中国・北陸地方をはじめ、各地で397件の土砂災害が発生。

### 令和5年6月29日からの大雨被害の概要

死者	13人
全半壊	970棟
床上・床下浸水	6,255棟

令和6年3月6日現在 消防庁調べ



こせがわ  
巨瀬川の浸水状況  
くろめ  
(福岡県久留米市)



かんだがわ かすみつがわ  
神田川水系真光川堤防決壊状況  
しものせき  
(山口県下関市)



土砂災害の状況  
くろめ たぬしまるまちたけの  
(福岡県久留米市田主丸町竹野)

## 令和元年

- 令和元年東日本台風により、これまでに経験したことのないような記録的な大雨となり、総雨量は、神奈川県で1,000mmを超えたほか、静岡県では700mm、埼玉県、東京都、宮城県で600mmを超えた
- 河川の氾濫、土砂災害の発生、人的被害等、関東甲信地方、東北地方を中心に広範囲に及んだ

### 令和元年東日本台風被害の概要※

死者	118人
全半壊	33,267棟
床上・床下浸水	29,941棟

※数値には10月25日からの大雨による被害状況を含む  
 ※令和2年10月13日現在 消防庁調べ



ちくま  
千曲川の氾濫状況  
ながの  
(長野県長野市)



あぶくま  
阿武隈川の氾濫状況  
ごおりやま  
(福島県郡山市)



土砂災害の状況  
まるもり  
(宮城県丸森町)

## 平成30年

- 平成30年7月豪雨より西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、6月28日～7月8日までの総雨量が四国地方で1,800mm、<sup>※1</sup> 東海地方で1,200mm、九州北部地方900mm、近畿地方で600mm、中国地方で500mmを超えた
- 西日本を中心に、広範囲に及ぶ河川の氾濫、がけ崩れ等が発生
- 土砂災害発生件数は2,581件に及んだ

※1 高知県 魚梁瀬観測所  
(1,852.2mm)

### 平成30年7月豪雨被害の概要※2

死者	263人
全半壊	18,125棟
床上・床下浸水	28,582棟

※2 平成31年4月1日現在 消防庁調べ



おだ  
小田川の浸水状況  
くらしき まび  
(岡山県倉敷市真備町)



ひじ  
肱川の氾濫状況  
おおす  
(愛媛県大洲市)



土砂災害の状況  
ひろしま  
(広島県広島市)

# 気候変動による将来の降雨量、流量、洪水発生頻度の変化の試算結果

## 概要

- 産業革命以前と比べて気温が2℃上昇すると降雨量は全国平均的に約1.1倍となり、4℃上昇すると1.3倍と予測されている。
- 降雨量が増加した場合の流量と洪水発生頻度は、以下の表の通り試算している。

<参考> 降雨量変化倍率をもとに算出した、流量変化倍率と洪水発生頻度の変化の一級水系における全国平均値

気候変動シナリオ	降雨量
2℃上昇時	約1.1倍
4℃上昇時	約1.3倍

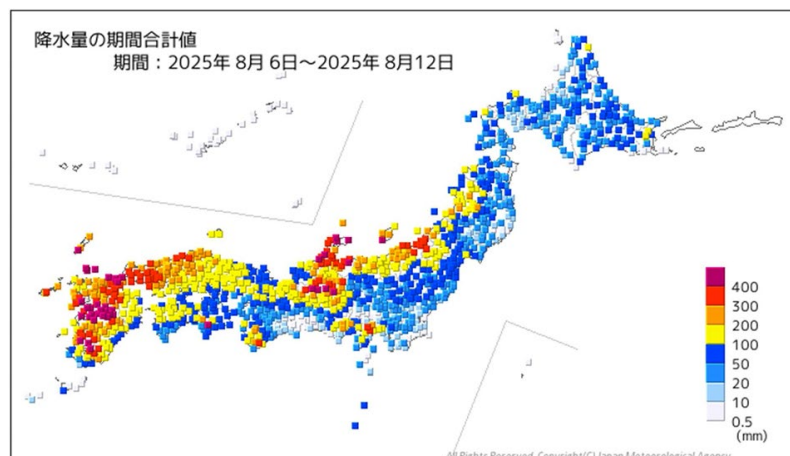
流量	洪水発生頻度
約1.2倍	約2倍
約1.4倍	約4倍

# 令和7年8月6日からの大雨

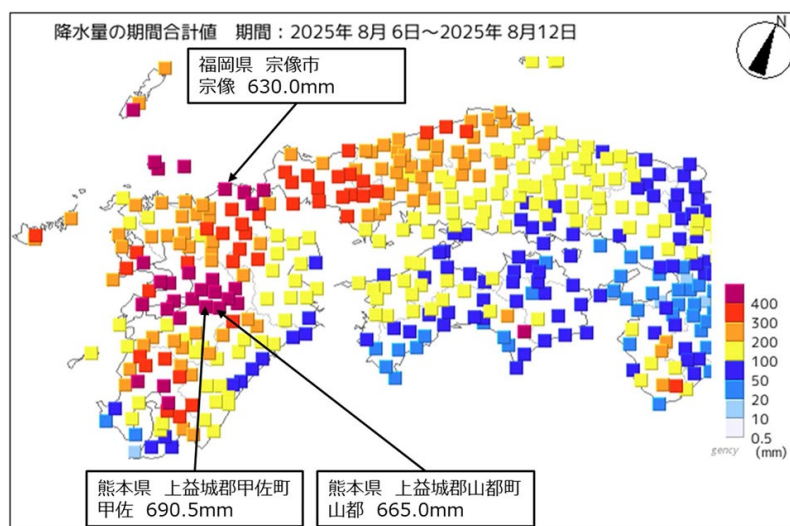
# 令和7年8月6日からの大雨の概要

## 概要

- 8月6日から8日にかけて、朝鮮半島付近にあった前線を伴った低気圧が北日本を通過して千島近海に進み、前線が日本付近に停滞した。
- 北日本を通過した低気圧や日本付近に停滞した前線、前線上に発生した低気圧に向かって日本の南や東シナ海から暖かく湿った空気が流れ込んだため、北日本から西日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定となり、北陸地方や九州を中心に記録的な大雨となった。
- 6日から7日は低気圧や前線の影響で石川県では線状降水帯が発生するなど、北陸地方で大雨となった。8日は前線が九州付近に南下して鹿児島県で線状降水帯が発生し、大雨特別警報を発表するなど、九州南部で大雨となった。9日から11日は前線が九州付近に停滞して、福岡県、山口県、大分県、熊本県、長崎県で線状降水帯が繰り返し発生し、熊本県には大雨特別警報を発表するなど、九州北部地方を中心に大雨となった。
- 上記の地域では、複数の地点で3時間降水量や24時間降水量が観測史上1位の値を更新するなど、記録的な大雨となり、6日から12日にかけての総降水量が600ミリを超えた地点や、平年の8月の月降水量の3倍以上となった地点があった。
- これらの大雨により、北日本から西日本の日本海側を中心とした地域及び九州地方において、土砂災害や浸水による被害が発生した。
- また、この期間は北日本から西日本にかけて大気の状態が非常に不安定であったため、発達した積乱雲により、突風の被害が発生した所があった。



降水量の期間合計値分布図（2025年8月6日～12日）



降水量の期間合計値（拡大）（2025年8月6日～12日）

# 令和7年8月6日からの大雨による水害

## 概要

### <被害の状況等>

- 6日明け方から北陸地方を中心に前線が停滞し、富山県、石川県などで大雨を記録。また、九州南部に前線が停滞し、8日には、鹿児島県霧島市に大雨特別警報が発表。11日には、熊本県玉名市、長洲町、氷川町、宇城市、八代市、上天草市、天草市に大雨特別警報が発表。
- 10県（秋田県、新潟県、富山県、石川県、島根県、山口県、福岡県、長崎県、熊本県、鹿児島県）の49水系67河川において浸水被害を確認。（浸水解消済み）
- 秋田県、山形県、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、京都府、和歌山県、広島県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県内の87ダムで洪水調節を実施した。

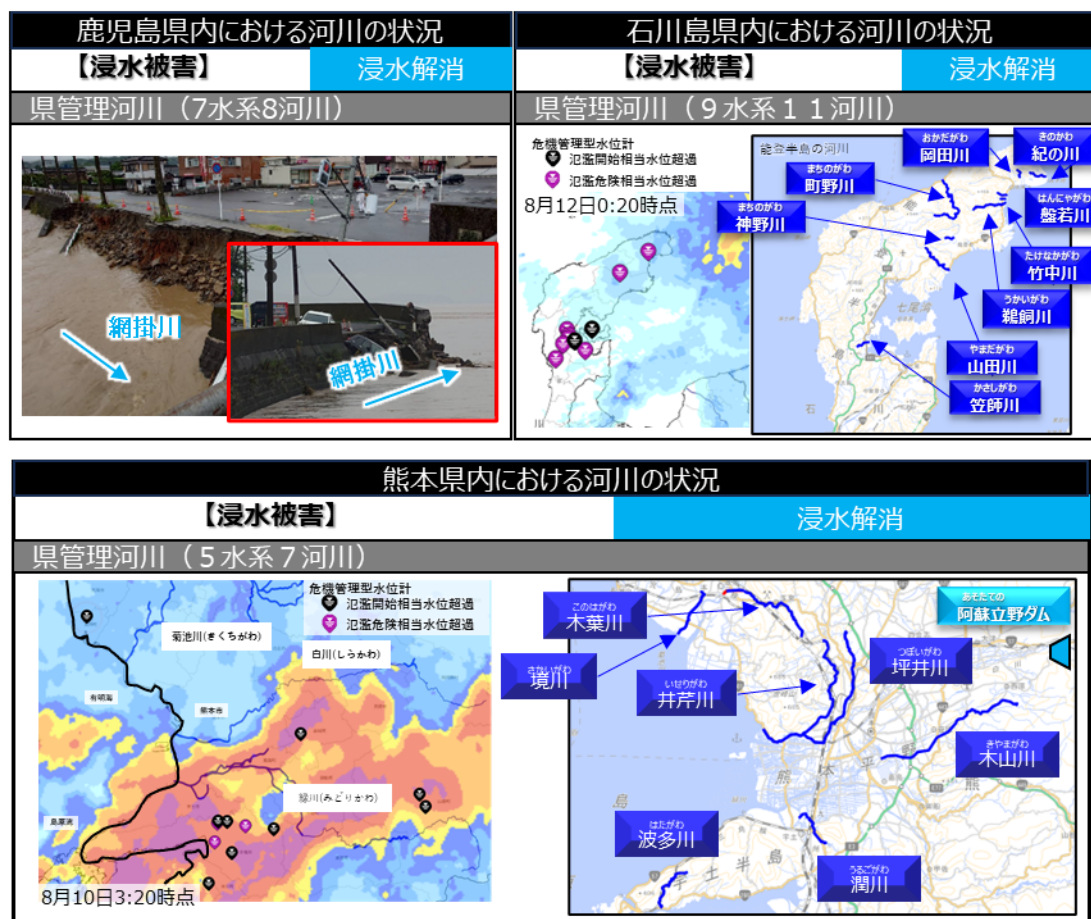
### 8月6日からの大雨に伴う 河川の浸水被害状況（浸水解消済み）

秋田県	2水系	2河川
新潟県	1水系	1河川
富山県	6水系	9河川
石川県	9水系	11河川
島根県	1水系	2河川
山口県	2水系	2河川
福岡県	10水系	19河川
長崎県	6水系	6河川
熊本県	5水系	7河川
鹿児島県	7水系	8河川

計：49水系67河川



### ○鹿児島県・石川県・熊本県における被災状況



# 令和7年8月6日からの大雨による土砂災害

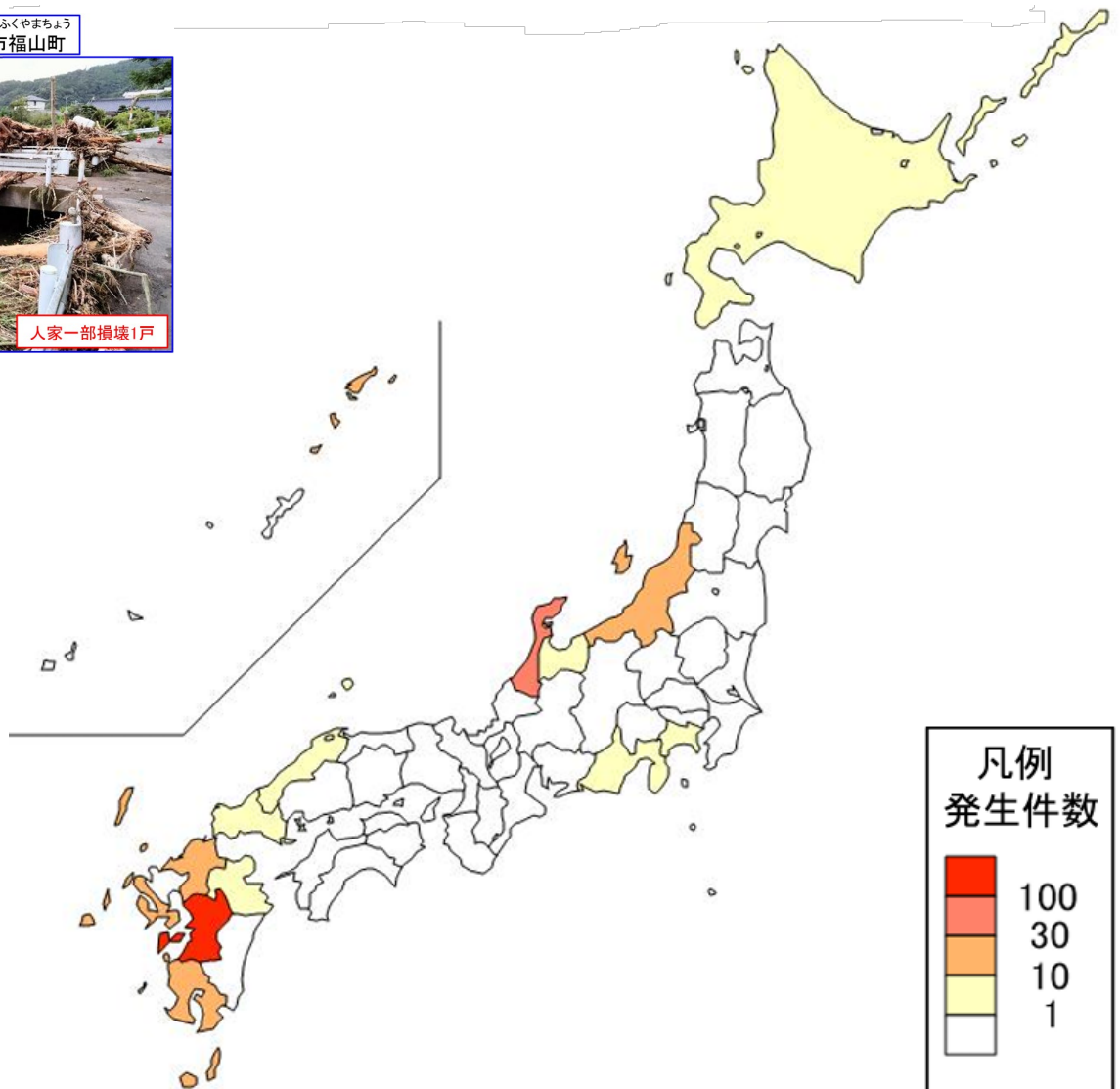
## 土砂災害発生件数

### 248件

土石流等 : 36件  
 がけ崩れ : 201件  
 地すべり : 11件

#### 【被害状況】

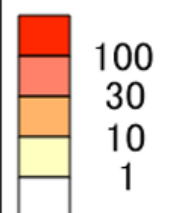
人的被害 : 死者2名  
               負傷者4名  
 人家被害 : 全壊14戸  
               半壊28戸  
               一部損壊157戸



#### 発生件数内訳

北海道	1件
神奈川県	1件
新潟県	13件
富山県	8件
石川県	36件
静岡県	1件
島根県	3件
山口県	4件
福岡県	21件
長崎県	15件
熊本県	128件
大分県	1件
鹿児島県	16件

#### 凡例 発生件数

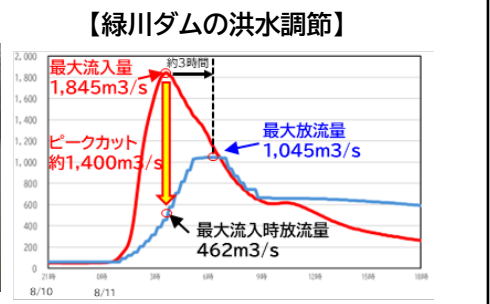
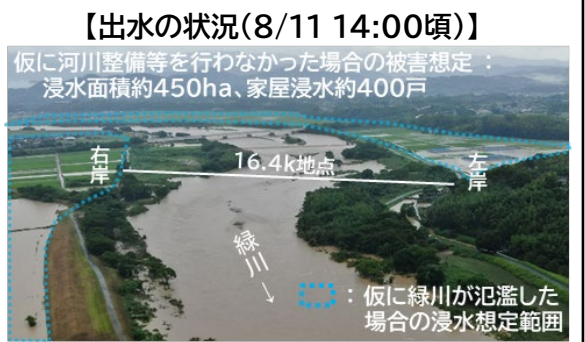
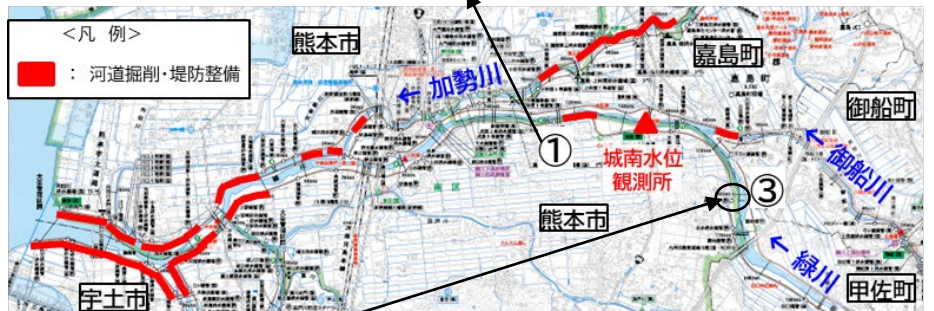
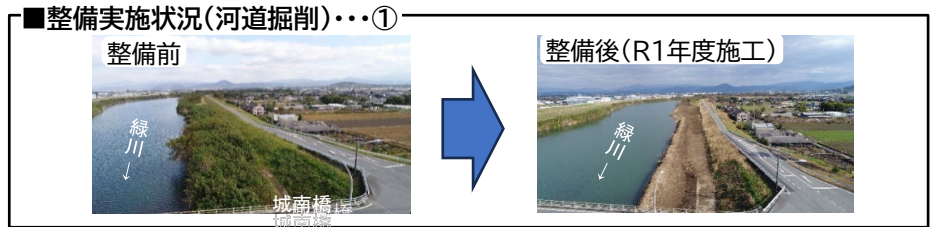


みどり かわ

# 河川整備と緑川ダムによる治水効果(緑川水系緑川)

概要

- 令和7年8月7日（木）から8月11日（月）にかけて、九州地方で広く大雨となり、緑川流域の稲生野雨量観測所では24時間雨量364mmを記録し、城南水位観測所では観測史上最高水位である7.49mを記録。
- 緑川では、緑川ダムによる洪水調節を行うとともに、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」などで河川整備を進めていたことにより、城南水位観測所上流（16.4k地点）において約70cmの水位低減効果を発揮し、越水を回避。
- 仮に、これらの河川整備等が無かった場合は越水していたことが想定され、多くの浸水被害が発生していた可能性がある（被害想定：浸水面積約450ha、家屋浸水約400戸）。



※本資料の数値は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります

砂防事業による効果（福岡県朝倉市杷木古賀）



災害発生日：令和7年8月10日  
 降雨状況：連続雨量 336mm  
 時間最大雨量 107mm ※松末小学校観測所  
 施設概要：船底谷川第二砂防堰堤（令和5年3月完成 福岡県整備）  
**防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策として整備**  
 効果：令和7年8月9日からの大雨による土石流を砂防堰堤が捕捉し、人家466戸、国・県道（緊急輸送道路）等を保全。



3年で2回の効果発揮

※資産等被害軽減効果(速報値)の算出方法は「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル(案)(国交省)」に準じる。



除石により機能回復



砂防堰堤の除石工事に災害復旧事業を初適用し速やかに機能回復予定  
 除石土砂量 約7,600m<sup>3</sup>  
 災害査定額 約7,500万円 (国庫補助率2/3)

# 令和7年9月3日からの大雨

# 令和7年9月3日からの大雨の概要

## 概要

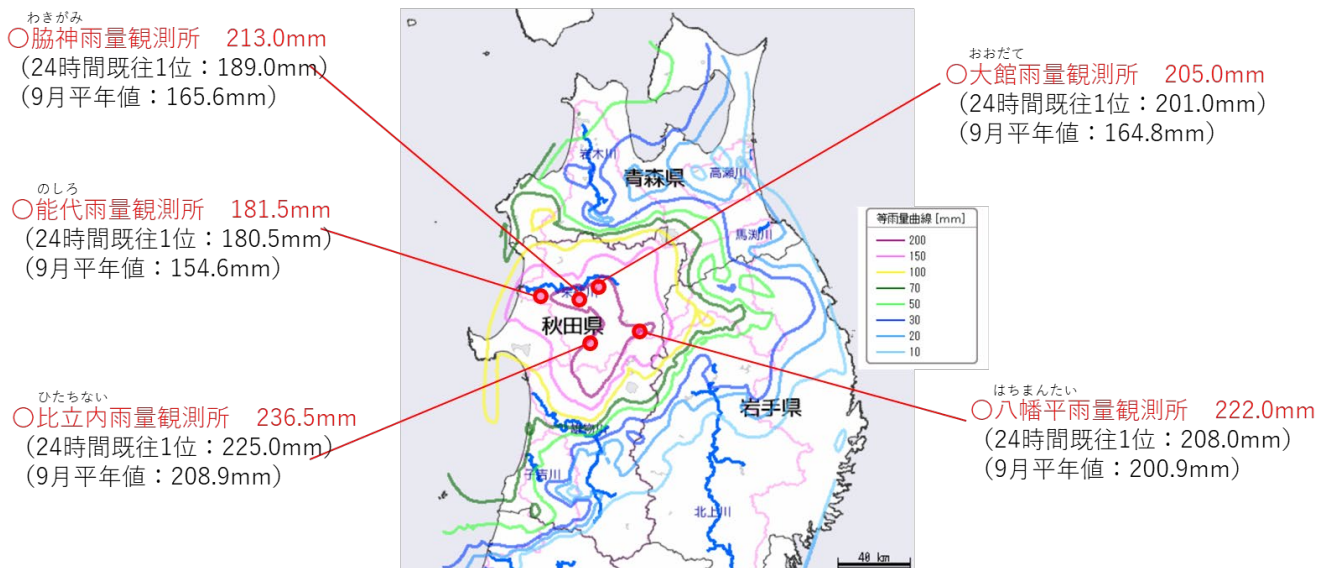
- ・ 台風第15号は4日3時に日本の南で発生した後、夜にかけて宮崎県沖を北上した。5日には進路を東よりに変えて1時頃に高知県宿毛市付近に上陸した後、9時頃に和歌山県北部に上陸した。台風はその後、東日本太平洋側を東へ進んで、5日21時には日本の東で温帯低気圧に変わった。
- ・ 台風本体や台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が非常に不安定となった影響で、4日には九州南部を中心に、5日には西日本から東日本の太平洋側や東北地方で大雨となった。特に4日には宮崎県で、5日には静岡県と神奈川県で線状降水帯が発生し、宮崎県では24時間降水量が450ミリを超えて、年の9月1か月分の降水量を上回る記録的な大雨となった所があったほか、静岡県で350ミリ、神奈川県で150ミリを超える大雨となった所があった。また、西日本から東日本の広い範囲で雷を伴って猛烈な雨が降り、激しい突風が発生した所もあった。
- ・ 東日本の太平洋側では、風速20メートル以上の非常に強い風が吹いた所があった。

## 降雨状況

○管内5地点で24時間雨量が観測史上1位を記録。

◇能代雨量観測所 (秋田県能代市)	24時間雨量	181.5mm (1時間最大37.0mm)
◇大館雨量観測所 (秋田県大館市)	24時間雨量	205.0mm (1時間最大42.0mm)
◇脇神雨量観測所 (秋田県北秋田市)	24時間雨量	213.0mm (1時間最大41.0mm)
◇八幡平雨量観測所 (秋田県鹿角市)	24時間雨量	222.0mm (1時間最大55.0mm)
◇比立内雨量観測所 (秋田県北秋田市)	24時間雨量	236.5mm (1時間最大54.0mm)

等雨量線図 (9月2日～9月3日までの24時間雨量)



# 令和7年9月3日からの大雨による水害

## 概要

- 前線の影響により、秋田県を中心に記録的な大雨となり、24時間雨量は多いところで200mmを超過。5つの雨量観測所で観測史上1位となり、9月1ヶ月分の平年値を上回る雨量を記録。
- 東北12水系のうち、国管理河川では、1水系1河川で氾濫危険水位を超過。1水系1河川で避難判断水位を超過。
- 直轄3ダムで洪水調節を実施。

### 1. 河川出水状況

#### ○レベル4【氾濫危険水位超過】

・米代川(小猿部川)

#### ○レベル3【避難判断水位超過】

・米代川(米代川)

凡例	
<span style="color: red;">—</span>	レベル5(氾濫発生)
<span style="color: magenta;">—</span>	レベル4(氾濫危険水位超過)
<span style="color: green;">—</span>	レベル3(避難判断水位超過)
<span style="color: blue;">—</span>	レベル2(氾濫注意水位超過)
<span style="color: green;">▲</span>	洪水調節実施ダム

### 2. ダム洪水調節状況

#### ○直轄3ダム(延べ4回)で洪水調節を実施

- ・玉川ダム(雄物川水系)
- ・森吉山ダム(米代川水系)
- ・寒河江ダム(最上川水系)



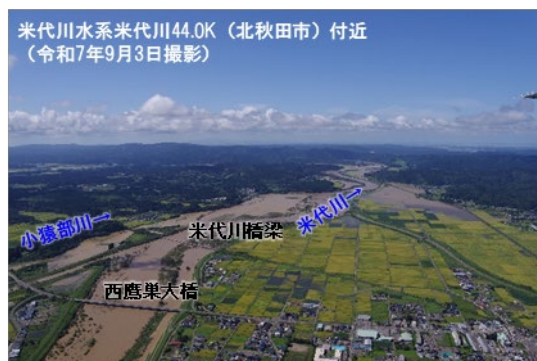
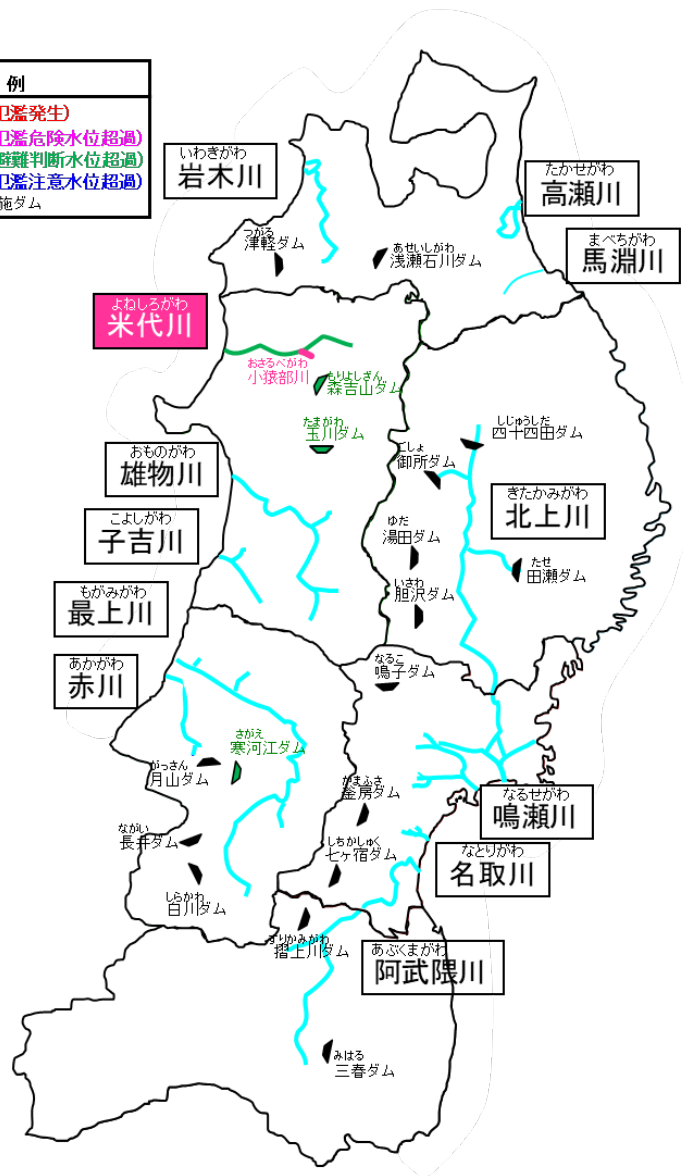
米代川水系米代川5.5K(能代市)付近  
(令和7年9月3日あおぞら号撮影)



米代川水系米代川5.0K(能代市)付近  
(令和7年9月3日撮影)



米代川水系米代川39.0K(北秋田市)付近  
(令和7年9月3日撮影)

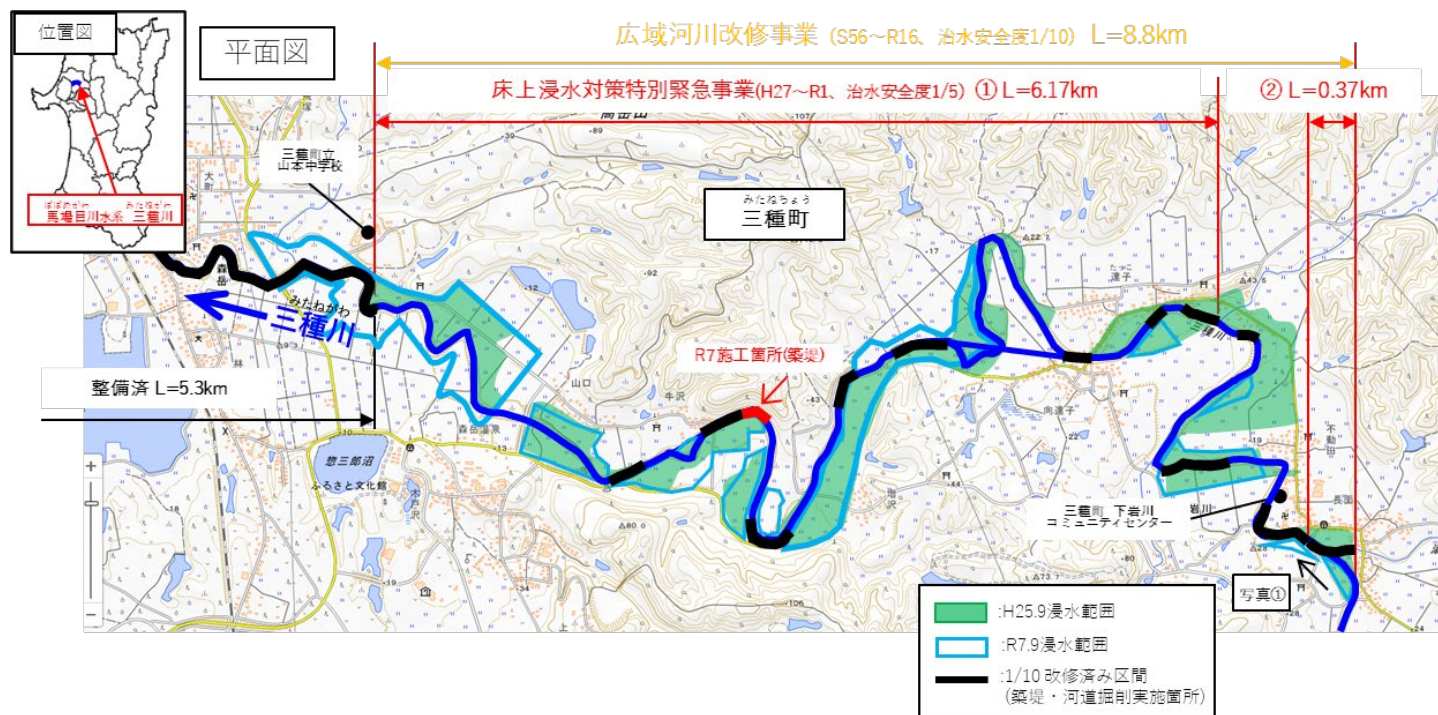


米代川水系米代川44.0K(北秋田市)付近  
(令和7年9月3日撮影)

河川整備による治水効果（秋田県馬場目川水系三種川）



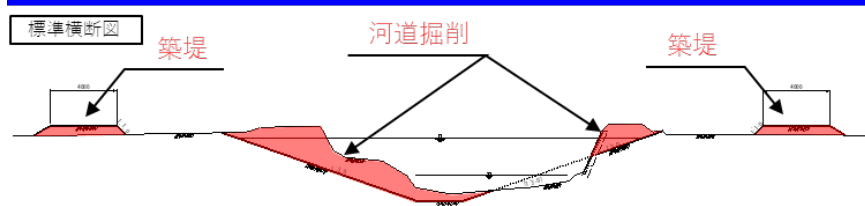
- 三種町を流れる三種川（秋田県管理）では、平成25年出水において、外水氾濫により床上49戸、床下29戸の家屋浸水被害が発生。
- 出水を踏まえ、平成27年度から床上浸水対策特別緊急事業（令和元年完了）により治水安全度1/5を確保し、引続き治水安全度1/10を目標に防災・減災対策等強化事業推進費や防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策により、集落周辺の河道掘削や築堤等の治水対策を重点的に推進。
- 今次出水では、平成25年出水を上回る雨量を記録したが、治水対策により、家屋浸水被害は大幅に減少。



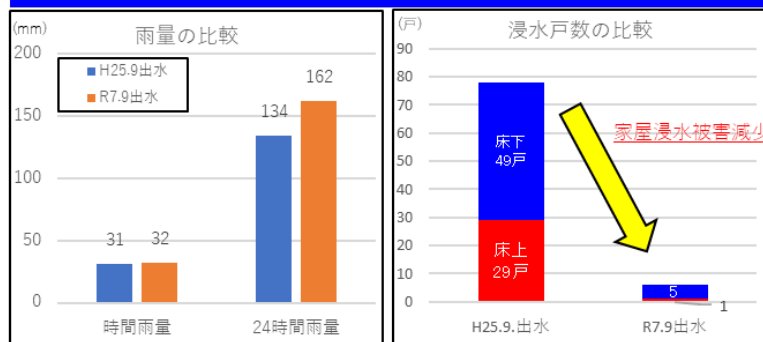
出水状況



治水対策の実施



事業による効果【速報値】※



三種川上流の上岩川雨量観測所でH25出水を上回る雨量を記録  
 ⇒治水対策により家屋浸水被害は大幅に減少

※本資料の数値は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります

# 流域の対応による治水効果（秋田県米代川水系悪土川）

よねしろ あくど

概要

- 令和5年7月の梅雨前線による大雨により、能代市を流れる悪土川の沿川地域では甚大な浸水被害が発生。
- 国、秋田県、能代市は、被害軽減対策に関する検討を行い、令和6年3月、悪土川流域において関係者が協働して集中的に対策を行う「悪土川水災害対策プロジェクト」を策定。
- 「悪土川水災害対策プロジェクト」に基づき、国は米代川の河川改修を推進し、秋田県は悪土川の河川改修、堆積土砂の撤去・伐木を推進。また、排水ポンプ車配置計画の見直しを実施。能代市は、ワンコイン浸水センサ設置によるソフト対策を推進。
- 今次出水では、能代雨量観測所で令和5年出水と同規模の雨量を記録したが、国、秋田県による治水対策と排水ポンプ車の前進配備で迅速に内水排水したことにより、悪土川沿川の浸水深を約0.5m低減。



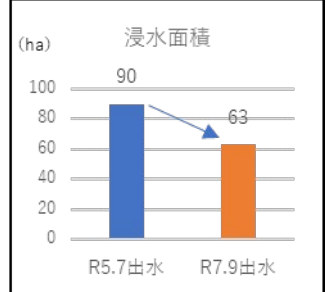
【能代地区河道掘削状況】



【悪土川堆積土砂撤去・伐木状況】



【ワンコイン浸水センサ設置状況】



※本資料の数値は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります

# 海外における災害

## 7月アメリカ・テキサス州における豪雨



- 7月4日～7日にテキサス州ヒルカントリー地域は、州史上最悪の鉄砲水に見舞われた。熱帯暴風雨「バリー」が残した熱帯の湿った空気により発達した積乱雲が、最大500mmの雨を降らせ、特にカー郡ではグアドルペ川の水位が急激に上昇、大規模な洪水が発生した。\*1
- 州当局によると、州全体の死者は、河畔でのサマーキャンプに参加していた少女らを含む135人に上り、3人が行方不明となった。\*2

\*1:アメリカ海洋大気庁 (NOAA)

<https://www.ncei.noaa.gov/news/national-climate-202507>

\*2: Kxan 7/31

<https://www.kxan.com/news/texas/map-where-have-flash-flooding-fatalities-been-confirmed-in-texas/>



Photo by Getty Images

## フィリピン台風25号「カルマエギ」被害



- 台風25号「カルマエギ」は、11月4日、最大風速150km/h(41.7m/s)を伴い、フィリピン中部のビサヤ諸島とパラワン島を通過した。
- 11月6日にフィリピン領海をぬけた。\*3,4

2025年11月26日時点(NDRRMC SitRep最終)\*4

- 死者：253人、行方不明者：119人、負傷者：502人、被災者：5,458,858人(1,526,203世帯)、一部損壊家屋：280,750棟、全壊家屋：44,128棟
- インフラ被害額：PHP 770,109,308.96(約20.5億円)

\*3:国家災害リスク軽減管理委員会(NDRRMC)11/4

[https://x.com/NDRRMC\\_OpCen/status/1985413663524864247](https://x.com/NDRRMC_OpCen/status/1985413663524864247)

\*4:国家災害リスク軽減管理委員会(NDRRMC)11/26

[https://ndrrmc.gov.ph/wp-content/uploads/2025/11/Situational\\_Report\\_No.\\_30\\_for\\_the\\_Effects\\_of\\_Tropical\\_Cyclone\\_TINO\\_2025.pdf](https://ndrrmc.gov.ph/wp-content/uploads/2025/11/Situational_Report_No._30_for_the_Effects_of_Tropical_Cyclone_TINO_2025.pdf)



Photo by Getty Images

## ベトナム・中部、中南部における洪水被害



- ベトナム中部(フエ市、ダナン市等)では、10月25日から長引く大雨により、広範囲に洪水・土砂災害が発生。フエ市山間部では30日までの累積降雨が1,600mmを超え、ダナン市ボン川は、1964年の既往最高水位を超過した。\*5
- 11月6日に台風25号「カルマエギ」が中南部ダクラク省に上陸、ザーライ省、クアンガイ省で広範囲に洪水・土砂災害\*6
- 11月16日-22日に中南部は、ふたたび豪雨に見舞われ、ダクラク省とカインホア省では、一部河川で既往最高水位を超過。\*7
- 10/25-11/1死者10人、11/6-7(台25号)死者8人、11/16-27死者108人。\*8

\*5: AHA Centre 10/30

<https://ahacentre.org/flash-update/flash-update-no-01-flooding-in-central-viet-nam-30-october-2025/>

\*6: United Nations Viet Nam 11/11

<https://vietnam.un.org/en/305035-viet-nam-typhoon-kalmaegi-no-13-flash-update-no-1>

\*7: AHA Centre 11/25

<https://ahacentre.org/flash-update/flash-update-no-1-flooding-in-central-viet-nam-25-november-2025/>

\*8 EM-DAT 12/19

<https://www.emdat.be/>



## 11月インドネシア・スマトラ島洪水・土砂災害



2025年11月23日から、熱帯低気圧が東南アジアに甚大な被害をもたらした。

- インドネシアでは、長雨とサイクロン「センヤール」がアチエ州、北スマトラ州、西スマトラ州の3州を襲った。
- 地形と異常気象に加え、環境悪化も重なり、これら3州の50県・市で鉄砲水、河川洪水、地滑りが発生した。
- アチエ州では河川上流から流下した木材、土石が被害を拡大した。\*9

2026年3月5日時点\*10

- 死者：1,207人、行方不明者：138人、被災家屋：301,012棟

\*9: ADRRN

<https://www.adrrn.net/portfolio/indonesia-flash-flood-and-landslides-in-aceh-and-north-sumatra-provinces-following-extreme-rainfall/>

\*10: 国家防災庁(BNPB)

<https://gis.bnpb.go.id/bansorsumatera2025/>





おおよどがわ  
大淀川水系大淀川 (宮崎県都城市) 令和7年8月

みやこのじょうし